



アカンサス

【校是：責任 友愛 努力】

令和8年（2026年）
3月号発行
能美市立辰口中学校
武部 聡子

めざす学校・生徒像

- た 楽しい学校
- つ つながり合い高め合う生徒
- の 伸びゆく能美市を支える生徒
- く くじけずやり抜く生徒
- ち 力いっぱい生きる生徒



155名の卒業生の皆さん 卒業おめでとう！

3月13日（金）第79回卒業証書授与式を行いました。一人ひとり卒業証書を受け取り、立派に巣立っていきました。在校生たちは、卒業生の思いをしっかり引き継ぎます。子どもたちの成長を一番近くで見守ってくださった保護者の皆様、今日までお子様を支え、本校の教育活動にご理解とご協力を賜りましたことに、心より感謝申し上げます。卒業生の皆さんの未来に、幸多からんことを職員一同願っております。***答辞より*******

（前略）迎えた最高学年の三年生。今まで積み重ねた二年間を経て、ついに学校のリーダーになることへの期待に胸を膨らませました。全校生徒で創り上げた運動会や文化祭は一瞬一瞬が輝いており、どこをとっても笑顔がある、そんな素晴らしい行事になったと思います。また、三日間の修学旅行では、「行ってきます」から「ただいま」まで皆の高揚感が続いていました。特に三日目に行ったUSJでは普段とは違ったみんなの一面を見ることができ、なんだか嬉しい気持ちになったことを今でも覚えています。しかし、そんな楽しい日々の中にも、辛く大変なこともありました。学年を重ねるごとに難しくなっていく勉強。部活動での厳しい練習。次から次へとやってくるテスト。三年生になると進路のことも真剣に考えなくてはなりません。見えないところから容赦なく降り注いでくる不安や重圧に押し潰されそうになる日も少なくありませんでした。そんなときに私たちに希望の光を灯してくれたのは、今、横にいる大切な仲間たち・家族・先生方・後輩の存在です。

お父さん、お母さん。私たちが小さい頃から、ここまで育ててくれてありがとう。おかげでここまで大きくなれました。「態度も大きくなったね」なんて言われるときもありました。でも、それだけ安心して本音を出せる存在でいてくれたことが嬉しかった。これから先も迷惑をかけてしまうことがあるかもしれませんが、自分たちの足でしっかりと歩んでいく姿を見守っててください。

私たちの成長のためにとご尽力くださった先生方。私たちが多感なこの時期。時には先生方に対し、おこがましい態度をとったときもありましたが、根気強くここまで導いて下さったこと、本当に感謝しています。ありがとうございました。

在校生の皆さん。共に創り上げた学校行事の数々は今振り返ってみても本当に素晴らしい思い出です。私たち卒業生にここまでついてきてくれてありがとう。この先は一つずつ学年が上がります。一年生は新入生のお手本となれるよう、頑張ってください。二年生は来月からは三年生と呼び名が変わりますが、「三年生」という時間は本当にあっという間に過ぎていきます。一日一日を大切にこれからも頑張ってください。応援しています。

最後に、今日、中学校を卒業し、それぞれの道へと飛び立っていく大好きなみんなへ。これまでの三年間、みんなの隣で沢山の経験ができたこと、本当に幸せでした。その日その日、一瞬一瞬が、奇跡のような時間だったね。当たり前だった、朝の『おはよう』。休み時間の賑やかな廊下。放課後の夕暮れの教室。明日から、そのどれもが『思い出』という名前に変わってしまいます。これから先、僕たちはそれぞれの道へと進みます。慣れない環境で、自分の居場所が見つからず、孤独を感じることもあるかもしれません。けれど、思い出してください。ここには、三年間を共に駆け抜けた一五五人の仲間がいます。僕たちが過ごした時間は、消えない『お守り』となって、みんなの背中を支えてくれるはずですよ。みんななら、絶対に大丈夫。もし、一人で抱えきれないほどの壁にぶつかったら、どうか強がらずに誰かを頼ってください。そして、誰かに頼られたときは、ちょっとだけ背伸びをして、手を差し伸べてあげてください。完璧な大人になんて、ならなくていい。そうやって不器用でもお互いを支え合いながら、僕たちは本当の『大人』になっていくのだと思います。次に会うときは、少しだけ、たくましくなった姿で。それまで、それぞれの場所で精一杯、自分らしく咲き誇りましょう。今まで本当にありがとう。（後略）

【卒業生代表 海道 信輝】

*****送辞より*****

（前略）先輩方が部活動を引退したとき、先輩方が背負っていた責任や重圧を知ることができるとともに、先輩方が築いてきたこの伝統を私達の代でも守っていけるようにと改めて思いました。また、部活動で集団として何を目指すかや、まとまりをつくらうとしたとき、今まで感じたことのないなごみにつづり、先輩方の存在がどれほど大きく、偉大だったかを改めて感じました。部活動以外でも、先輩方の存在の大きさや偉大さを感じたのが運動会や文化祭などの行事です。運動会では、先輩方が中学校生活最後の運動会ということもあり、とても気合を入れられていましたが、私達在校生はまとまりを作ることができず先輩方に多くの苦勞や迷惑をかけてしまいました。ですが、そんな中でも先輩方は根気強く、前向きな声掛けをしてくれ、私達に困パフォーマンスやよさこいを教えてくれました。団長や副団長、団リーダーのみならず全員が、優しく接してくださり、私もそういう先輩になりたいと思いました。私たち在校生にも先輩たちの思いが伝わり、当日は、今まで感じたことのない最高の運動会となり、暑さも忘れられるほど楽しく行うことができました。文化祭は、インフルエンザが猛威をふるい、練習時間が削られたり、本番が延期になったりするなど、困難な状況の中での開催でした。しかし、先輩方の合唱は力強く、私達の心にも強く響きました。「戮力（りくりよく）協心（きょうしん）」のスローガン通り、この文化祭は沢山の人が関わり、学校全体がひとつになり、最高の文化祭になりました。どんなことにも主体的に取り組む皆さんは私達の憧れです。今はまだ頼りないかもしれませんが、先輩方が引き継いできた伝統を私達も引き継いでいけるように精一杯頑張っていきます。今まで、本当にありがとうございました。

【在校生代表 梅田 呉己】

